

別記様式第2号

令和3年度
岩手県
NPO等の「絆力（きずなりよく）」を活かした
復興・被災者支援事業
評価報告書

都道府県担当部局	(窓口) 環境生活部若者女性協働推進室 担当者氏名 佐藤 宏昭 電話番号 019-629-5198 メールアドレス AC0006@pref.iwate.jp
----------	--

1. 事業の成果目標の達成状況

番号	成果目標		達成状況	
	項目	目標（値）	達成状況	達成状況に関する説明等
1	補助金により支援するNPO等が行う復興・被災者支援事業への参加団体数	7団体	6団体	被災地におけるソフト事業（心のケア、コミュニティ形成）には依然としてニーズがあるものの、審査の結果、不採択の件数が多かったことから、目標を下回ったもの。
2	復興・被災者支援による受益者の取組に関する満足度についてのアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合	80%	83.0%	被災者及び被災地のニーズを的確に捉えて各NPO等が事業に取り組み、高い満足度が得られたもの。
3	マッチング・交流会参加団体数	8団体	25団体	オンラインを活用した交流会を行い、被災地への継続的な支援について理解を得て、首都圏をはじめとする企業等の参加を多数得られたもの。

（備考）成果目標は事業実施計画において定めた内容と整合を取ってください。

2. 事業実施結果

2-1. 総括表

交付対象事業		事業費 (円)	国費 (円)	県費 (円)	取組実施 主体 (円)	「1. 事業の 成果目標」 との対応 (番号)	
県が実施した事業内容 (名称と実施主体)							
(1) NPO等の 絆力を活かした復興・被災者支援 の取組支援	①被災者の心のケア、健康・生活支援に向けた取組	(名称) 東日本大震災文化芸術復興事業「三陸沿岸 キッズミュージカル交流事業“2022”」 (実施主体) 特定非営利活動法人劇団ゆう	4,223,914	2,815,942	985,058	422,914	1, 2
		(名称) 映像文化によるコミュニティ形成事業 (実施主体) みやこ映画生活協同組合	3,945,564	2,630,376	919,624	395,564	1, 2
	②コミュニティ形成等の復興に向けた取組	(名称) 地域の復興支援体制の転換期における新 たな子育て支援の仕組みづくり (実施主体) 一般社団法人 Tsubomi	1,066,211	710,807	229,193	126,211	1, 2
		(名称) 文化芸術による新たなコミュニティ形成 事業 (実施主体) 特定非営利活動法人いわてアートサポ ートセンター	3,680,651	2,453,767	858,233	368,651	1, 2
	④中間支援の取組	(名称) 被災地事業者等の事業・活動推進、組織基 盤強化のための伴走型コーディネート (実施主体) 特定非営利活動法人 wiz	5,523,566	3,682,377	1,288,623	552,566	1, 2
		(名称) 復興支援に取り組むNPOの運営基盤強 化プロジェクト (実施主体) 特定非営利活動法人陸前高田まちづくり 協働センター	1,024,331	682,887	238,113	103,331	1, 2
	小計 (a)		19,464,237	12,976,156	4,518,844	1,969,237	

交付対象事業		事業費 (円)	国費 (円)	県費 (円)	「1. 事業の 成果目標」 との対応 (番号)
県が実施した事業内容 (名称と実施主体 (委託先))					
(2) 復興・被災者支援を 行 う NPO等の 絆力強化	(名称) 県内NPO法人と県外企業との交流会 (実施主体 (委託先)) 特定非営利活動法人いわて連携復興センター	1,978,300	1,318,866	659,434	3
	(名称) 審査委員会等運営事業 (実施主体 (委託先)) 直営	2,666,330	1,777,553	888,777	1, 3
	小計 (b)		4,644,630	3,096,419	1,548,211

合計 (a+b)	事業費 (円)	国費 (円)	県費 (円)	取組実施 主体 (円)
		24,108,867	16,072,575	6,067,055

(備考)「県が実施した事業内容」は、実施した事業について全て記載してください。

2-2. 各事業の成果

(1) NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援の取組支援

整理番号	(1) - 1																						
事業名	東日本大震災文化芸術復興事業「三陸沿岸キッズミュージカル交流事業“2022”」																						
取組実施主体と役割分担	特定非営利活動法人劇団ゆう																						
取組実施地域	滝沢市、八戸市、階上町、久慈市、洋野町、宮古市、釜石市、山田町、大槌町、大船渡市、陸前高田市、住田町																						
取組分野	①被災者の心のケア、健康・生活支援に向けた取組 ②コミュニティ形成等の復興に向けた取組																						
事業概要	文化芸術の振興と被災者支援として、沿岸自治体との協働で世代を超えた住民参加型ミュージカル創作事業をNPOの専門性や絆力ネットワークを活かし継続的に実施する。また、市民ボランティアの拡大や相互交流を通じて沿岸縦軸の「絆力」の促進をきめ細やかに推進し将来自立可能な活動の育成を図る。																						
事業費とその内訳	<table> <tr> <td>【総事業費】</td> <td>4,223,914 円</td> </tr> <tr> <td>【経費内訳】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>526,994 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>258,200 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>14,581 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>243,425 円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>10,408 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び会場借料</td> <td>412,730 円</td> </tr> <tr> <td>募集広告費</td> <td>206,250 円</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>2,542,966 円</td> </tr> <tr> <td>その他知事が必要と認める経費</td> <td>8,360 円</td> </tr> </table>	【総事業費】	4,223,914 円	【経費内訳】		諸謝金	526,994 円	旅費	258,200 円	消耗品費	14,581 円	印刷製本費	243,425 円	通信運搬費	10,408 円	使用料及び会場借料	412,730 円	募集広告費	206,250 円	委託費	2,542,966 円	その他知事が必要と認める経費	8,360 円
【総事業費】	4,223,914 円																						
【経費内訳】																							
諸謝金	526,994 円																						
旅費	258,200 円																						
消耗品費	14,581 円																						
印刷製本費	243,425 円																						
通信運搬費	10,408 円																						
使用料及び会場借料	412,730 円																						
募集広告費	206,250 円																						
委託費	2,542,966 円																						
その他知事が必要と認める経費	8,360 円																						

<p style="text-align: center;">事業の 成果</p>	<p>【成果目標の達成状況】</p> <p>復興・被災者支援による受益者の取組に関するアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合</p> <p>県目標値：80%→本事業 80.1%</p> <p>【波及的な効果】</p> <p>本事業の目的である「心の復興」と「絆力の構築」して将来、自立、継続可能な文化芸術活動を地域で実現するに当たって、コロナ禍にあつての募集定員の達成、高い練習出席率、家族や市民ボランティアの拡大、各エリアや内陸部との相互出演等は本事業が計画的に確実に推進していることを実証していると思われる。</p> <p>また出演する児童生徒は、発災直後とは違い年々明るさと積極性が高まっており、それが学校や家庭でも評価されている報告が多数見られた。</p>
<p style="text-align: center;">事業実施 年度以降 の方針</p>	<p>自立を目指す文化芸術活動の担い手を育成するために、参加者の意欲の向上、行政の理解と支援、家族や地域住民の理解と応援のあり方が整いつつあるため、各エリアの実情に併せた自立支援活動を推進する。</p>
<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)</p>	<p>被災地の復興・被災者支援に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった</p> <hr/> <p>(上記評価の理由)</p> <p>受益者アンケートは 80.1%と良好な結果であるが、計画目標達成項目割合は 67.6%であることから、「一定の成果が得られた」と評価する。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚分以内で記載してください。

整理番号	(1) - 2																						
事業名	映像文化によるコミュニティ形成事業																						
取組実施主体と役割分担	みやこ映画生活協同組合																						
取組実施地域	盛岡市、久慈市、宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市、山田町、大槌町																						
取組分野	①被災者の心のケア、健康・生活支援に向けた取組 ②コミュニティ形成等の復興に向けた取組																						
事業概要	1 学生（高校・短大）が企画し運営する体験上映会を実施する。 2 被災地のコミュニティセンター・中心市街地施設等にて上映会と交流サロンを実施する。 3 地域住民全体及び近隣の地域も対象に地域映画祭を実施する。																						
事業費とその内訳	<table> <tr> <td>【総事業費】</td> <td>3,945,564 円</td> </tr> <tr> <td>【経費内訳】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>1,230,975 円</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>103,480 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>160,292 円</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>105,812 円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>222,196 円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>30,030 円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び会場借料</td> <td>1,973,481 円</td> </tr> <tr> <td>募集広告費</td> <td>105,366 円</td> </tr> <tr> <td>その他知事が必要と認める経費</td> <td>13,932 円</td> </tr> </table>	【総事業費】	3,945,564 円	【経費内訳】		人件費	1,230,975 円	諸謝金	103,480 円	旅費	160,292 円	消耗品費	105,812 円	印刷製本費	222,196 円	通信運搬費	30,030 円	使用料及び会場借料	1,973,481 円	募集広告費	105,366 円	その他知事が必要と認める経費	13,932 円
【総事業費】	3,945,564 円																						
【経費内訳】																							
人件費	1,230,975 円																						
諸謝金	103,480 円																						
旅費	160,292 円																						
消耗品費	105,812 円																						
印刷製本費	222,196 円																						
通信運搬費	30,030 円																						
使用料及び会場借料	1,973,481 円																						
募集広告費	105,366 円																						
その他知事が必要と認める経費	13,932 円																						

<p style="text-align: center;">事業の 成果</p>	<p>【成果目標の達成状況】 復興・被災者支援による受益者の取組に関するアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合 県目標値：80%→83.7%</p> <p>【波及的な効果】 学生企画・体験上映会は、学生たちが仲間を募り上映会を目指すことで、成功体験や学生同士の交流など豊かな心が育まれた。また、素晴らしい映画を鑑賞することで、参加者のストレス解消、リフレッシュ、心の健康につながった。</p> <p>被災地上映会と交流サロン活動は、声を掛け合って参加したり、一緒に上映会の準備や後片付けをするなど交流が図られ、コミュニティにつながった。また、公民館やコミュニティセンターを利用することで近隣住民が気軽に参加でき、交流の少なかった人達の交流の場になった。</p> <p>地域映画祭は、新たな上映地域を設定して、より多くの人達に岩手や地域にゆかりのある映画を楽しんでもらい、地域全体での交流の場となった。</p>
<p style="text-align: center;">事業実施 年度以降 の方針</p>	<p>学生企画・体験上映会は、さらに地域発展につながるような上映会活動を続けていくほか、被災地上映会は、次年度以降も同様に交流の場として上映活動を継続していきたい。</p> <p>地域映画祭は、震災の風化の防止にもつながるような映画を選定し、内陸地域や首都圏でも上映したい。</p> <p>資金調達方法は、目的にあった様々な助成金に応募して資金を調達する。また、参加料をいただく上映会を行いながら、助成金とともに活用する。合わせて寄付金のお願いもしていく。</p>
<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)</p>	<p>被災地の復興・被災者支援に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった</p> <hr/> <p>(上記評価の理由)</p> <p>計画目標達成項目割合及び受益者アンケート結果が良好であることから、「優れた成果が得られた」と評価する。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚分以内で記載してください。

整理番号	(1) - 3
事業名	地域の復興支援体制の転換期における新たな子育て支援の仕組みづくり
取組実施主体と役割分担	一般社団法人 Tsubomi
取組実施地域	大槌町、釜石市
取組分野	①被災者の心のケア、健康・生活支援に向けた取組 ②コミュニティ形成等の復興に向けた取組 ④復興・被災者支援を行うNPO等に対する中間支援の取組
事業概要	1 地域の協働による子育て世代の居場所づくりのためのサロンの開催 2 地域全体で子育て支援についての知識を深めるための子育て支援関係機関を参加対象に専門家を招いた子育て支援勉強会の開催
事業費とその内訳	<p>【総事業費】 1,066,211 円</p> <p>【経費内訳】</p> <p>人件費 795,000 円</p> <p>諸謝金 153,231 円</p> <p>旅費 21,225 円</p> <p>消耗品費 75,635 円</p> <p>使用料及び会場借料 21,120 円</p>
事業の成果	<p>【成果目標の達成状況】</p> <p>復興・被災者支援による受益者の取組に関するアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合</p> <p>県目標値：80%→本事業 91.1%</p> <p>【波及的な効果】</p> <p>サロンにおいて、参加者同士でのコミュニケーションを促進することにより、「地域に子育て世代のコミュニティが形成されたこと」及び「震災による地域コミュニティの変化に加え、コロナ禍でさらに自宅に引きこもりがちで地域から孤立してしまっている子育て世代が、サロンを通じて地域とつながりを持ち、地域の心の拠り所となるような居場所がつけられたこと」が実感できた。</p> <p>子育て支援勉強会の開催を通して、地域課題の解決に向けて1歩前進したことが実感できた。</p>
事業実施年度以降の方針	復興まちづくりにおける子育て分野での地域課題に対する理解や、そのニーズへの対応策について深めた知識を生かし、まち全体でより充実した子育て

	<p>て支援に取り組む。</p> <p>地域や各関係機関との連携を強化することで、寄付金や協力金を募るなどして、多くの団体・人材が関わる息の長い支援への移行を目指す。</p>
<p>評価</p> <p>(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)</p>	<p>被災地の復興・被災者支援に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった</p> <hr/> <p>(上記評価の理由)</p> <p>計画目標達成項目割合及び受益者アンケート結果が良好であることから、「優れた成果が得られた」と評価する。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚分以内で記載してください。

整理番号	(1) - 4
事業名	文化芸術による新たなコミュニティ形成事業
取組実施主体と役割分担	特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター
取組実施地域	岩手県全域
取組分野	②コミュニティ形成等の復興に向けた取組
事業概要	<p>1 市民参加の舞台振興と持続可能なコミュニティ形成活動</p> <p>(1) みやこ市民劇の専門的スキルアップ支援</p> <p>(2) 市民劇連携フォーラム（オンラインフォーラム）の開催</p> <p>2 地域・世代の交流と次世代を育む活動</p> <p>(1) 復興10年新しいムーブメントの支援</p> <p>(2) 市民劇による地域間交流</p> <p>(3) 美術指導者等との交流研修会の開催</p> <p>3 被災地・被災者からの思いを伝え語り継ぐ活動</p> <p>(1) 「いわて震災児童文学2022」の募集</p> <p>(2) 朗読劇の作品作りと公演の実施</p> <p>4 文化による支援を啓発する活動</p> <p>(1) 「3.11文化によるいわて復興フォーラム」の開催</p> <p>5 その他上記1～4の活動を支える活動</p> <p>(1) 運営会議の開催</p>
事業費とその内訳	<p>【総事業費】 3,680,651円</p> <p>【経費内訳】</p> <p>人件費 2,194,849円</p> <p>諸謝金 616,800円</p> <p>旅費 276,715円</p> <p>消耗品費 47,144円</p> <p>印刷製本費 361,560円</p> <p>通信運搬費 78,453円</p> <p>使用料及び会場借料 71,970円</p> <p>委託費 16,500円</p> <p>その他知事が必要と認める経費 16,660円</p>

<p style="text-align: center;">事業の 成果</p>	<p>【成果目標の達成状況】</p> <p>復興・被災者支援による受益者の取組に関するアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合</p> <p>県目標値：80%→本事業 100.0%</p> <p>【波及的な効果】</p> <p>「いわて震災児童文学 2022」は、県外から「読みたい」という問い合わせが複数あり、希望者に送付した。また、県内外の図書館や文化関係団体へ広く配布し、被災地からの思いを風化させず語り継ぐことに寄与できた。</p> <p>「3.11 文化によるいわて復興フォーラム」は、コロナ感染拡大防止のため例年より減席しての開催となったが、新聞・テレビによる詳細な報道により、沿岸被災地の現状に対する市民理解の促進につながった。</p>
<p style="text-align: center;">事業実施 年度以降 の方針</p>	<p>持続可能な活動とするための資金調達については、これまで避けていた受益者負担を、入場料や参加費として徐々に定着させるほか、各種メセナ資金やクラウドファンディング、他の公的助成との組み合わせによる実施を検討する。また、県及び市町村事業として継続できるものについては、協働による活動の継続に向け協議していきたい。</p>
<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)</p>	<p>被災地の復興・被災者支援に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった</p> <hr/> <p>(上記評価の理由)</p> <p>計画目標達成項目数が少ないが、受益者アンケート結果が 100.0%と高評価であることから、「一定の成果が得られた」と評価する。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚分以内で記載してください。

整理番号	(1) - 5																
事業名	被災地事業者等の事業・活動推進、組織基盤強化のための伴走型コーディネート																
取組実施主体と役割分担	特定非営利活動法人 wiz																
取組実施地域	大船渡市、陸前高田市、宮古市、山田町																
取組分野	②コミュニティ形成等の復興に向けた取組 ④復興・被災者支援を行うNPO等に対する中間支援の取組																
事業概要	1 外部人材のコーディネートによる被災地事業者毎の事業推進及び課題解決 (1) 実践型インターンシップ (2) 副業のコーディネート 2 専門家による事業者等の資金調達、組織運営基盤強化支援 (1) 士業専門家やIT・Webの専門家によるオンライン相談																
事業費とその内訳	<table> <tr> <td>【総事業費】</td> <td>5,523,566 円</td> </tr> <tr> <td>【経費内訳】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>3,042,945 円</td> </tr> <tr> <td>諸謝金</td> <td>67,200 円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>29,000 円</td> </tr> <tr> <td>募集広告費</td> <td>590,000 円</td> </tr> <tr> <td>委託費</td> <td>1,793,000 円</td> </tr> <tr> <td>その他知事が必要と認める経費</td> <td>1,421 円</td> </tr> </table>	【総事業費】	5,523,566 円	【経費内訳】		人件費	3,042,945 円	諸謝金	67,200 円	旅費	29,000 円	募集広告費	590,000 円	委託費	1,793,000 円	その他知事が必要と認める経費	1,421 円
【総事業費】	5,523,566 円																
【経費内訳】																	
人件費	3,042,945 円																
諸謝金	67,200 円																
旅費	29,000 円																
募集広告費	590,000 円																
委託費	1,793,000 円																
その他知事が必要と認める経費	1,421 円																

<p style="text-align: center;">事業の 成果</p>	<p>【成果目標の達成状況】 復興・被災者支援による受益者の取組に関するアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合 県目標値：80%→本事業 95.7%</p> <p>【波及的な効果】 実践型インターンシップにおいては、現地活動中に従業員がインターン生に作業を指導したり、地域住民がインターン生の滞在先に食材を届けてくれたりなど、インターン生との交流が積極的に行われ、域外から訪れた学生の被災地域・復興への理解が進むとともに、地域側にとっては自社・自地域の魅力の再発見に繋がった。 被災地域事業者において人材確保・定着は喫緊の課題である。雇用に限らずに、課題や業務を切り出し、案件に応じて、またオンラインも活用して外部人材と協働する知見、ノウハウが得られたことで、中長期的な復興に向けた事業・活動の維持・拡大に取り組む土台ができた。</p>
<p style="text-align: center;">事業実施 年度以降 の方針</p>	<p>被災地の事業者等の事業・活動の維持・拡大に向けて、地域側のニーズと外部人材側のニーズを考慮した上で双方を繋ぎ、総合的に事業・プロジェクトをコーディネートするNPOの必要性も実感できたため、今後も継続・発展を前提に事業を行っていく。 次年度以降はさらに地域、事業者を拡大してニーズを発掘し、参画事業者による費用負担を基本とした事業運営を検討するとともに、プログラムを通じて被災地及び被災者と交流する若者を増やし、復興及び被災者支援を推進する。</p>
<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)</p>	<p>被災地の復興・被災者支援に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった</p> <hr/> <p>(上記評価の理由)</p> <p>計画目標達成項目割合及び受益者アンケート結果が良好であることから、「優れた成果が得られた」と評価する。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚分以内で記載してください。

整理番号	(1) - 6
事業名	復興支援に取り組むNPOの運営基盤強化プロジェクト
取組実施主体と役割分担	特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター
取組実施地域	陸前高田市
取組分野	④復興・被災者支援を行うNPO等に対する中間支援の取組
事業概要	1 NPO運営のノウハウ向上 (1) NPOの運営にかかわる基礎知識の勉強会の開催 2 市民の参画チャンネル構築 (1) NPOの活動を知るイベントの開催
事業費とその内訳	【総事業費】 1,024,331 円 【経費内訳】 人件費 622,739 円 諸謝金 346,800 円 消耗品費 8,538 円 印刷製本費 11,230 円 通信運搬費 756 円 使用料及び会場借料 17,260 円 募集広告費 15,578 円 その他知事が必要と認める経費 1,430 円

<p style="text-align: center;">事業の 成果</p>	<p>【成果目標の達成状況】 復興・被災者支援による受益者の取組に関するアンケート集計結果において、「どちらかといえば改善した」以上の割合 県目標値：80%→本事業 86.8%</p> <p>【波及的な効果】 NPO運営のノウハウ向上については、地域社会から信頼されるNPOの姿、基本的な運営ノウハウの学びをわかりやすく伝えることができ、高い理解も得ることができた。また、良い学びの提供を通して、NPOの運営力向上の一助となることができた。 市民の参画チャンネル構築については、エントリーしたNPOからはイベント後に参加した方から連絡があったという報告を受けたほか、自分たちの取組の需要の高さを再認識できたという声や、新しい活動を考えるきっかけになったなどの声も聴かれ、イベントを通して活動の活性化や発展にも貢献することができた。</p>
<p style="text-align: center;">事業実施 年度以降 の方針</p>	<p>NPO運営のノウハウ向上については、沿岸被災地域で継続的な支援を続けるために、本事業を通じてできた広域連携の基盤を活用し、次年度以降に少しずつ取組を始められるようにしていきたい。 市民の参画チャンネルの構築については、どんな成果が上げられるのかをNPOに周知しつつ、定期的を開催してイベントの認知度を上げながら、NPOにとっても市民にとっても「参加することで新たなつながりが得られる場」として認識されるよう育てていきたい。</p>
<p style="text-align: center;">評価</p> <p>(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)</p>	<p>被災地の復興・被災者支援に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった</p> <hr/> <p>(上記評価の理由)</p> <p>受益者アンケートは86.8%と良好な結果であるが、計画目標達成項目割合は60.0%であることから、「一定の成果が得られた」と評価する。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚分以内で記載してください。

(2) 復興・被災者支援を行うNPO等の絆力強化

整理番号	(2) - 1
事業名	県内NPO法人と県外企業との交流会
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 県直営事業 <input checked="" type="checkbox"/> 委託事業（受託者：特定非営利活動法人いわて連携復興センター）
支援対象者の概要	沿岸被災地において復興・被災者支援を行うNPO等
事業概要	復興・被災者支援を行うNPO等と支援者等との絆力を強化するため、首都圏の企業や団体を対象として、県内NPO等の活動紹介や復興支援に連携・協働して取り組むためのマッチングイベントを開催する。
事業費とその内訳	【総事業費】 1,978,300円 【経費内訳】 委託費 1,978,300円
事業の成果	<p>県内NPO法人と県外企業との交流会（オンライン交流会）を以下のとおり実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県内NPO法人と県外企業との交流会（オンライン交流会） 開催日：令和4年1月25日（火） 参加団体：県内NPO等（15団体）、県外企業等（25団体） 2 マッチング成果 マッチング達成件数：6件、次年度継続件数：16件 3 備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初予定していた県内NPO法人と岩手県内企業との交流会（岩手交流会）を中止。
評価	<p>NPO等の絆力強化に関して、</p> <input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> C：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> D：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> E：成果が得られなかった
(上段の該当する評価にチェックを付け、下段にその理由を記載してください)	<p>(上記評価の理由)</p> <p>岩手交流会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止せざるを得なかったが、オンライン交流会では、本県の復興状況やNPO等による復興支援活動の状況について県外企業等に理解してもらうことができ、県外企業等と県内NPOとの連携・協働を生み出す機会となった。</p> <p>東日本大震災津波から11年が経過し、新型コロナウイルス感染症の影響が</p>

	ある中でもなお、県内NPO等 15 団体、県外企業等 25 団体（38 名）の参加者を得て目標値を達成するとともに、マッチングを達成した件数が 6 件、情報共有等を行える体制の構築等の次年度継続件数が 16 件の成果があった。
--	---

（備考）総括表に記載された全ての実施事業について、1 件当たり 2 枚以内で記載してください。

整理番号	(2) - 2
事業名	審査委員会等運営事業
事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 県直営事業 <input type="checkbox"/> 委託事業 (受託者:)
支援対象者の概要	補助事業及び委託事業の実施団体
事業概要	<p>NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援の取組事業の選定及び復興・被災者支援を行うNPO等の絆力強化として、首都圏での交流会等の受託団体の選定を行う審査委員会を開催する。</p> <p>また、上記選定事業の評価及び指導・助言等を行う。</p> <p>1 審査委員会の名称 NPO等復興支援事業審査委員会 (委員数5名)</p> <p>2 開催実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査委員会：2回 (うち1回は、県単独事業と同日に開催) ・現地視察：2回 (盛岡市、陸前高田市、大槌町) <p>3 備考</p> <p>新型コロナ感染拡大防止のため、3月に予定していた審査委員会 (事業報告会) を中止し、活動報告書等のホームページ公開に変更。</p>
事業費とその内訳	<p>事業費の総額：2,666,330円</p> <p>(内訳) 人件費：2,384,280円、報償費：124,800円、旅費：44,010円、消耗品費：58,167円、役務費：14,333円、使用料：40,740円</p>
事業の成果	<p>金融、NPO法人、学識経験者、行政等の専門家5名を審査委員として委嘱し、以下の事業を行った。</p> <p>1 補助事業及び委託団体の選定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援の取組を行う補助事業6事業を選定 ・県内NPO法人と県外企業との交流会の受託団体1団体を選定 <p>2 団体への指導・助言等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助事業に取り組む団体の現地訪問による実施状況の確認及び事業への助言の実施 ・補助事業者の実績 (実績報告書及び成果報告書を送付) の評価及び助言の実施
評価 <small>(上段の該当する評価にチ</small>	<p>NPO等の絆力強化に関して、</p> <p><input type="checkbox"/> A：特に優れた成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> B：優れた成果が得られた</p>

<p>チェックを付け、 下段にその理由を記載してください</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> C : 一定の成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> D : 限定的であるが成果が得られた</p> <p><input type="checkbox"/> E : 成果が得られなかった</p>
	<p>(上記評価の理由)</p> <p>NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援の取組支援において、補助金により支援するNPO等が行う復興・被災者支援事業への参加団体数の目標値は下回ったものの、適切な補助事業や受託者の選定を行うことができた。</p> <p>審査委員による現地確認において、委員から各団体に助言等を行うことにより補助事業の趣旨に沿った事業の展開が可能となり、受益者満足度が目標値である「どちらかといえば改善した」の割合 80%以上を達成する等、高い事業成果を得ることができた。</p>

(備考) 総括表に記載された全ての実施事業について、1件当たり2枚以内で記載してください。

3. 審査委員会の開催結果

- (1) 審査委員会の名称
NPO等復興支援事業審査委員会
- (2) 審査委員会の役割等
審査委員会は設置要綱による設置とし、委員は知事が委嘱した。
審査委員会所掌事務は、次のとおり。
ア 復興支援事業の委託を受ける団体・組織からの提案の選定に関すること
イ 復興支援事業のうち、NPO等の絆力を活かした復興・被災者支援の取組支援事業の選定に関すること
ウ 復興支援事業の評価に関すること
エ 復興支援事業の効果を高めるための指導・助言等に関すること
オ その他NPO等への支援の検討に関すること
- (3) 審査委員会委員の構成
日本政策金融公庫盛岡支店 国民生活事業融資第二課長 小原 禎宏
岩手県立大学総合政策学部 教授 倉原 宗孝
特定非営利活動法人ふれあいステーション・あい 理事長 佐々木 りほ子
特定非営利活動法人やませデザイン会議 理事 田中 卓
紫波町企画総務部企画課地域開発係 地域づくり専門員 ハワード さおり
- (4) 今年度の開催結果
- 第1回
○開催日 令和3年5月27日
○議題 第1回審査委員会（補助事業）
○概要 応募事業について、書面及びプレゼンテーションを踏まえ、補助事業の選定を行ったもの。
- 第2回
○開催日 令和3年7月13日
○議題 第2回審査委員会（委託事業）
○概要 交流会事業の委託先について、書面により受託団体の選定を行ったもの。
- 第1回現地視察
○実施日 令和3年11月16日
○視察先 特定非営利活動法人 wiz
○参加委員数 4名
- 第2回現地視察
○実施日 令和3年11月19日
○視察先 特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センター、
一般社団法人 Tsubomi
○参加委員数 2名

4. 全体評価

- 1 補助事業においては、各補助事業実施団体が被災者の生活支援やコミュニティ形成支援等について、専門性や絆力を活かして、行政では手の届きにくいきめ細かな取組を実施した。
受益者アンケートの満足度の問いにおいて、「改善した」又は「どちらかといえば改善した」と回答した受益者の割合は83.0%であり、被災者のニーズに合った満足度の高い取組が実施されたことが成果であると評価する。
- 2 県内NPO法人と県外企業との交流会では、東日本大震災津波から11年が経過し震災の記憶の風化が進む中、首都圏の企業等に本県の復興状況やNPO等による復興・被災者支援活動を伝えることで支援団体との絆力を強化することができた。新型コロナウイルス感染症の影響のため、オンライン形式により開催したが、前年度並みの参加団体数を維持しつつ、マッチングの達成件数や情報共有等を行える体制の構築等の次年度継続件数においても成果を上げることができたものと評価する。
- 3 本事業等の実施により、復興・被災者支援活動を担うNPO等の運営力・絆力を強化してきたところであるが、未だ運営基盤の弱い団体も多く、引き続きNPO等の自立を促すとともに、企業・団体や市町村など多様な主体との連携や県民の参画により、持続的に復興・被災者支援の取組を進めていく必要がある。